

令和6年度第2回運営協議会議議事録

1 日時：令和6年10月17日（木）16：00～16：55

場所：視聴覚室

出席者：学校運営協議会委員8名 本校教職員24名

2 議事録

① 開会 副校長より

司会

② 校長挨拶

あいさつ（研修旅行、文化祭、授業改善、キャリア支援、サポートドックについて）

③ 各部会報告

定時教頭 【生徒支援・外国支援部会】

サポートドック実施の件。外国支援について、小学校の状況等参考になった。後期に生かしていく。

通信教頭 【キャリア支援部会】

進路選択ができない生徒のフォローについて、外部の支援を生かすことも考える。保護者に対して奨学金等の説明をしてほしいなどの意見が出た。

全日教頭 【授業環境開発整備部会】

公開授業研究会のグレードアップをしていく。課題は1人1台端末について、生徒が授業に持ってこない事への対策を考える必要がある。例えば、使うソフトの精選やiPadの導入も考慮に入れるなど話し合った。

④ 補足説明

全日制学校管理グループ 全日制学校評価報告書（中間評価）のついで補足

定時制学校管理チーム 定時制学校評価報告書（中間評価）のついで補足

前年度の反省を活かしてクリーンウォークの計画をしたが、雨天中止となった。

後期も計画しているため、地域との交流に活かしたい。

通信制学校管理グループ 通信制学校評価報告書（中間評価）のついで補足

全国・関東の通信制大会に参加。7月に教員対象の人権研修会を行った。中学校教員向けの説明会を行った。

⑤ 指導助言

各委員から次の指導助言があった。

- ・本校の生徒とみられる人物が、団地敷地内広場のベンチで食事をし、片付けをせずにゴミを捨てていくなど、住民から報告を受けている。クリーンウォークについては、住民と協力し参加していく。
- ・厚木清南高校の様々な特徴を中学生の進路向けにもっと発信していくと良い
- ・サポートドックについて、生徒が安心して生活できるように活用していることが評価できる。生徒の課題を学校と連携して解決するためにNPOを利用していきたい。
- ・高校での取り組みを知り、小学校でも成長の先を見据えた取り組みをしていきたいと感じた。
- ・1人の生徒に対して色々な先生が関わってくれているのかどうか気になる。進路

- や学習に対して自ら動けない生徒に対してどのように関わっているか。
- 何か困り感がある生徒がいれば、複数の教員で情報共有を行っている
(通信制職員)
- 生徒は担任とクラスルーム等で基本的に関わっているが、クラスの生徒全員について複数の教員で毎回情報共有しているわけではない。(通信制職員)
- ・スポーツ大会で生徒と一緒に時間を共有できたことがよかった。
 - ・フードバンクの運営について詳しく知りたい。
- 生活に困窮して生徒に活用。本人・SC・担任から申し出があった場合、学校で保管している食料を提供している。アウトリーチ相談支援事業の一環としての取り組みである。定期的に家庭の状況について学校で把握している。
- ・総合型選抜等の進路について、しっかり対応してくれているという印象。
 - ・学校が生徒のためにやっている取り組みがもっと保護者に伝わればいいと思う。

⑥ 講評(委員より)

生徒の置かれている状況にあった学びや支援が行われている。経済的な格差によりすべての生徒に学びの機会を与えるための議論がされていたり、教員や周りに頼れない生徒に対してどのように対応をするかの議論がされていたり、勉強になった。また、生徒に対して偏見をもたない指導など、学校では様々な工夫をしております。今後は学校内だけでなく、更に外部の機関も利用して皆で生徒を支えていくことができると良い。

⑦ 校長挨拶

10月6日の通信制の生活体験発表会についての感想。課程間併修の取組みについて、三課程教務内規の改訂を行っていることの報告。

⑨ 閉会(副校長)

岡田団地のゴミ捨て等の件について、校内で検討して報告する。
公開授業研究会についての説明(通信制職員)